広報くろさき 8
平成八年八月一日発行（毎月一日発行）三九五号 ㊐行／黒埼町役場 〒九五〇―二一 新潟県西蒲原郡黒埼町大野二八四三―一 電話／〇二五―三七七―三一〇一 編集／企画商工課（担当・広報統計係） 印刷／小野塚印刷㈱ 経費一部六十二円

人 128 いっちめんどくっせのは人の顔

木場新田・七十四歳
青木 市太郎さん

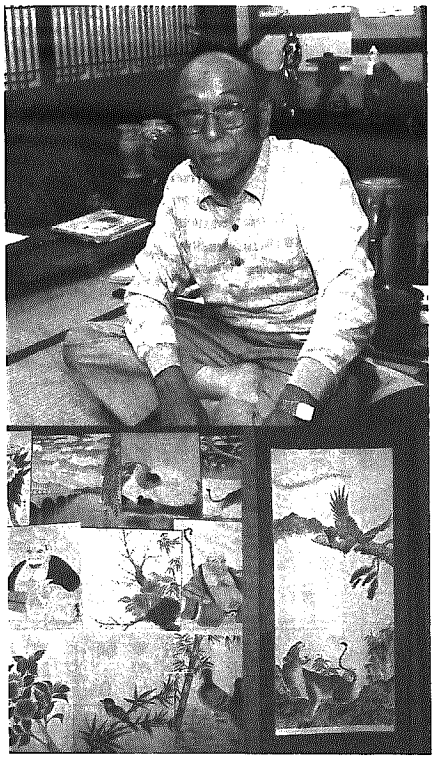
十三年前の寒い冬、大野のお茶屋さん木口園に一枚の絵があった。それは、色紙に「良寛さん」を描いている水彩画だった。勤めをやめてから約一年、家業の農家を手伝いながら、"何か趣味を"と探している時、幼い頃から絵が好きだったので「これらったら、書けるろっか」と思い、絵を始めたと木場新田の青木市太郎さんは熱く語り始めた。現在七十五歳、大変お元気で、何かに夢中な目をしている。「ボケ防止らて」、「退屈しのぎらて」と老人の片手間のように言われるが、拝見した絵はどれも細かい所まで描写されていて写真のようであった。

「いろいろらこて」これは、青木さんの描く絵の種類である。山水やだるま、七福神、草木、人物、動物などの絵。青木さんは様々な掛け軸を見て、気に入るとチャレンジする。絵だけでなく書も参考にする。十三年前「良寛さん」に出逢って以来ずっと独学で描き続けている。描きたいものがあると、その関係の本を買ってきて参考にする。また、色々な指導書を見ては、ここはこっちの表現がいいと参考にしたり、ここの色はあの色とこの色をどう合わせたら似た色になるのかなと考えることが難しくもあり楽しいと言う。だから先生はいない。自分の感性と自分で学んだ知識で青木ワールドを表現してきた。

「いっちめんどくっせのは、人間の顔。特に目が勝負らんさ、目の描き方で似たり似んかったりする。なんでこんげ苦労しんきゃだめらんろっか」と笑顔で仰る。そんな青木さんの絵のファンは多い。近所のおじいちゃん、おばあちゃんに似顔絵や掛け軸を頼まれる。「何枚描いたんか、どれくれ描いたんか枚数なんかわからね」つねに、今の作品に努力を惜しまず研究する。これが、青木さんの表現方法だ。

「完成を楽しみに描いているとやっぱはよやりてっけ」と二、三時間はあっという間に過ぎる。この時期（梅雨）は、暖かく湿度が高いので和紙が手に付きやすいので昼は描かず、夜に描く。「幸い俺は晩酌やらねっけちょうどいい」と。作品は、三枚を同時進行させながら描いていく。一枚に手を加えると乾くのを待つあいだ、二、三枚目を描くというふうに、「待たなくていいからね」とうれしそうに言う。

「自然の山、弥彦山とか角田山そういった風景画」を今後描きたいという。「本当は、上高地とか旅行に行って、写真を写してきて描きたい。ただ足がゆうことときけばねえ」と夢は広がる。今後もよき作品作りにいつまでも頑張っていただきたい。



ほんの一冊

「クレージー・バニラ」

バーバラ・ワースバ作
徳間書店 1994

現代の米児童文学。14才の少年タイラーの家族は壊れていた。父は仕事人間で厳しく、母はアルコール依存症。解り合っていたはずの兄は、2年前、同性愛者であることが発覚し家を飛び出したまま。友人もなく孤独な日々を鳥の写真を撮ることだけで過ごしていたタイラーだが、ある日同じく動物写真家をめざす1つ年上の女性ミッツィと出会い、何かが変わっていく。少し重いけれども、ゆったりとした静かな時間を過ごさせてくれる作品です。決してハッピーエンドではないけれど、前向きな最後にホッとします。中学生くらいから。（中山佳奈恵）

〈人の動き〉

6月末日現在		（前月比）	〔前年同日比〕
人口	24,404	（－ 6）	〔＋356〕
男	11,964	（＋ 13）	〔＋163〕
女	12,440	（－ 19）	〔＋193〕
世帯	7,157	（＋ 7）	〔＋321〕

6月1日～末日

出生	18	転入	76
婚姻	33	転出	88
死亡	12		

編集室

アトランタオリンピックで連日熱戦が繰り広げられ、最近は寝不足ぎみです。何かに打ち込んでいる姿は見ていて清々しいですね。当町でも将来を期待される少年、少女が頑張っています。八月七日(水)、警視庁武道館で開催される第九回全国警察少年柔道・剣道大会に黒埼町柔道連盟が、八月十・十一日、松本市総合体育館で開催される第十回全国ホープス大会東日本ブロック大会（卓球）に黒埼ジュニアと木場クラブが、八月十・十一日、駒沢オリンピック公園で開催される第一回全国ジュニアゲートボール大会に黒埼選抜チームが出場します。オリンピック同様、みなさん応援お願いします。

◎来月号では、十七・十八日に開催される「黒埼まつり」の様子などをお伝えしたいと思います。

◎表紙の写真は、七月二十日㈯の新潟ふるさと村の模様です。湯之谷村から送られてきた時ならぬ雪に、子供たちは大はしゃぎでした。